### 3 Dコンテンツデータ取得方法 (iPhone/iPad 利用の場合)

### **R.2.0**

### 一財)ニューメディア開発協会

# アプリケーション利用に必要な機器

- ・対応iPhone (XS 以降)
- · 対応iPad(右記載)

#### iPad

iPadOS 14.0以降、および A12 Bionicチップ以 降を搭載したデバイスが必要です。

- ・11インチ iPad Pro
- ・11インチ iPad Pro Wi-Fi + Cellular モデル
- 12.9インチiPad Pro(第3世代)
- 12.9インチiPad Pro(第3世代) Wi-Fi + Cellular モデル
- ・iPad mini (第5世代)
- ・iPad mini(第5世代)Wi-Fi + Cellularモデ ル
- iPad Air (第3世代)
- ・iPad Air(第3世代)Wi-Fi + Cellular モデル
- ・11インチiPad Pro(第2世代)
- ・11インチiPad Pro(第2世代) Wi-Fi + Cellularモデル
- 12.9インチiPad Pro (第4世代)
- ・12.9インチ iPad Pro(第4世代)Wi-Fi + Cellular モデル
- ・iPad Air (第4世代)
- ・iPad Air (第4世代) Wi-Fi + Cellular モデル
- ・iPad (第8世代)
- iPad (第8世代) Wi-Fi + Cellular モデル
- ・11インチ iPad Pro(第3世代)
- ・11インチiPad Pro(第3世代)Wi-
- Fi + Cellular モデル
- 12.9インチiPad Pro(第5世代)
- 12.9インチiPad Pro(第5世代) Wi-

- ・12.9インチiPad Pro(第5世代)Wi-
- Fi + Cellular モデル
- ・iPad mini(第6世代)
- ・iPad mini(第6世代)Wi-Fi + Cellular モデ ル
- ・iPad (第9世代)
- ・iPad (第9世代) Wi-Fi + Cellular モデル
- ・iPad Air(第5世代)
- ・iPad Air (第5世代) Wi-Fi + Cellular モデル
- iPad (10th generation)
- iPad (10th generation) Wi-Fi + Cellular
- iPad Pro (11-inch) (4th generation)
- iPad Pro (11-inch) (4th generation) Wi-Fi + Cellular
  - i + Cellular
- iPad Pro (12.9-inch) (6th generation)
- iPad Pro (12.9-inch) (6th generation) Wi-Fi + Cellular

# 3Dコンテンツデータ取得方法 (iPhoneの場合)

以下の手順で取得したデータを送付先に送付ください。

【手順1】

iPhone もしくは iPad を準備(注1) 注1:本資料はiPhoneベースに記載していますが、 iPadでも似た表示なので本資料を参考に操作ください

#### 【手順2】



App Storeから、「<mark>Scanniverse</mark>」(英字)を ダウンロード ※英字ソフトですが操作はシンプルです。

https://apps.apple.com/jp/app/scaniverse-3d-scanner-lidar/id1541433223

### 【手順3】

- 3D(立体物)を以下の手順で様々な方向から撮影
- 1) 「Scanniverse」アプリを立ち上げる
- 2) 画面下 中央にある赤色白抜き十字のNEWSCANをクリック
- 3) 対象物のサイズの選定。今回の場合は、 基本「<mark>Small Object</mark>」 (花、小物など)か 「<mark>Medium Object</mark>」(人、家具など)」を選択







#### 4) データ取得画面に変わる。

5)赤丸上の RANGE 0.8m は、カメラから被写体の距離。 カメラからこの距離の範囲のものが立体化対象となる

近くで小さめのもの撮影する場合は、この部分をクリックして 0.3m などに、逆に離れての撮影では、2.0mなどに設定を変更

- 6)被写体にカメラ部分を向け、<mark>赤丸</mark>を押し3Dデータ取得(撮影)を開始。 立体のデータ取得なので、被写体を様々な方向(上下左右様々な角度) から撮影
- 7) 撮影終了は、<mark>赤丸</mark> 再びクリック
- 8) **RECOMMENDED** 部分をクリック







9) データ出力のための処理 Processing Scan となる 10) SAVE ボタンをクリック



- 11) SHARE ボタンをクリック
- 12) Export Model をクリック
- 13) 提出フォーマットである GLB をクリック
- 14) メニューに表示される送付手段を使い、エクスポートを実施。 事務局フォーム(<u>https://forms.gle/fSpJ2q3MBhJnTR8q7</u>)へデータの提出

«3D動画作成方法» 15)11)項 SHARE ボタンクリック後、一番下から2番目の Create Video をクリック

NEXT ボタンクリック後、メニューに表示される送付手段を使い、 16) エクスポートを実施。mp4データを事務局に提出

※3Dスキャンの出来具合を動画データで確認できます(GLBデータでの確認は専用のツールが必要) まずは動画で確認しながらスキャンを繰り返し、完成後にGLBデータを作成する事をお勧めします。



11)

12)

13)	Export Model As	~
	FBX SUPPORTED BY MOST 3D SOFTWARE & GAME ENGINES	
	OBJ TEXT-BASED 3D MODEL FORMAT	
	GLB OPEN 3D FORMAT FOR THE WEB (BINARY GLTF)	
	USDZ BEST FOR ARKIT AND SHARING TO IPHONES	
	STL STEREOLITHOGRAPHY FILE	
	PLY HIGH-DENSITY COLOR POINT CLOUD	6

### 立体画像をきれいに取得するコツ

a) P.3 3) の下にある How to scan をご覧ください。

b) ポイントは 赤斜線部分はデータ撮影対象外。 同斜線ではない部分に表示されるコンテツを 対象物を舐め回すように四方八方から撮影し、 画面でのきれいな立体画像を目指す。

右記画面の場合、例えば、観葉植物の葉部分が不完全なので、 実際の被写体に該当する部分をていねいに撮影する。



b)1)

a)



Unscanned areas appear as stripes. As you scan, the stripes will disappear.

# END